

# MUSEUM NEWS

2019.12 ▶ 2020.1

ニューヨーク・アートシーン・ロスコ、ウォーホルから  
草間彌生、バスキアまで  
滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

とき・11/14(木・県民の日)～1/19(日)※会期中に一部展示替えがあります。前期:11/14(木)～12/15(日)/後期:12/17(火)～1/19(日)。  
ところ・2階展示室  
内容・滋賀県立近代美術館が所蔵する戦後アメリカ美術コレクションを中心に、国内の美術館の優品を加えた約100点の作品によって、ニューヨークで繰り広げられたアメリカ美術の半世紀を紹介いたします。  
観覧料・一般1200円(960円)、大高生960円(770円)  
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

## 《関連イベント》

○ミュージアム・カレッジ2019ー20世紀アメリカの視覚表現ー  
埼玉大学創立70周年記念事業  
埼玉大学教養学部と共催する公開講座です。

とき・12/7(土)15:00～16:30(開場は14:30)

タイトル・「ニュー・パウハウスからMITへ:G・ケベシュのアート&サイエンス」

講師・井口壽乃(埼玉大学大学院人文社会科学部研究科・教授・副学長) / ところ・2階講堂 / 定員・100名(当日先着順) / 費用・無料

## ○ミュージアム・コンサート

①「ニューヨーク、記憶の扉を辿る」

とき・12/1(日)14:30～15:30(開場は14:00)

内容・長年ニューヨークで活動した奥平真吾が、その豊かな体験からジャズ・スタンダード、オリジナル曲を選曲してお届けいたします。

出演者・奥平真吾 THE FORCE SPECIAL(奥平真吾(Ds)、岡淳(Sax)、片倉真由子(Pf)、古木佳祐(B))

ところ・2階講堂 / 定員・60席(当日先着順) / 費用・無料

②「笛は魔術師 エネルギーがほとばしる!」

とき・12/22(日)14:30～15:30(開場は14:00)

内容・ラテン系アーティストを含む多様な展示に合わせて、南米の笛ケーナのスペシャリスト山下 Topo 洋平 がヴァライティに富んだ選曲をお届けいたします。

出演者・山下 Topo 洋平(ケーナ)、茨木智博(オカリナ)、森悠也(ピアノ)

ところ・地階センターホール / 定員・60席(当日先着順) / 費用・無料

## ○担当学芸員によるギャラリー・トーク

とき・12/14(土)、1/11(土) 各日とも15:00から30分程度  
ところ・2階展示室 / 費用・企画展観覧料が必要。

## アーティスト・プロジェクト#2.04 トモシ 有酸素ナンパ

とき・11/14(木・県民の日)～1/19(日)

ところ・1階ギャラリー / 観覧料・無料

内容・公共空間に潜む様々なシステムに関心を寄せ、街角の人々にユーモラスに介入することで、公共空間のあり方を浮き彫りにするような映像作品を発表してきたトモシ。本展では、街角の公園にこっそり植えた植物を、大きな植物に替えていく様子を捉えた代表作の他、新作も発表します。

## 《関連イベント》

○トモシ過去作品上映会2016-2019

とき・12/8(日)、12/21(土)、1/19(日)

いずれも14:00～16:30(開場は13:30)

ところ・2階講堂 / 定員・100席(当日先着順) / 費用・無料

○副音声としてのアーティスト・トーク

とき・12/8(日)14:00～16:30(上映会と同時開催)

ゲスト・トモシ、山本悠(イラストレーター)

聞き手・佐原しおり(当館学芸員)

## アート体感ワークショップ

### MOMASのとびら

とき・各回とも13:30～15:00

費用・『工房』『親子クルーズ(企画展物語)』は500円。その他無料。

申込方法・館内配布の申込用紙により直接又はFAXでお申し込みいただくか、ホームページからお申し込みください。

1月分のお申込みを12/1(日)から受け付けます。

1/11(土)親子クルーズ(企画展物語)[小・中学生+保護者]

1/18(土)工房[小学生～大人]

1/25(土)フリープログラム[どなたでも]※申込不要

2月分のお申込みを1/6(月)から受け付けます。

2/8(土)工房[小学生～大人]

2/15(土)アート★ビンゴ[どなたでも]※申込不要

2/22(土)親子クルーズ(MOMASコレクション)

[小・中学生+保護者]

2/29(土)わくわく鑑賞ツアー[どなたでも]※申込不要

## MOMAS コレクション(収蔵品展)

### 2019年度 第3期

とき・10/26(土)～2/2(日)※会期中一部作品の展示替えがあります。  
前期:10/26(土)～12/8(日)、後期:12/10(火)～2/2(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

※会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

### ◇セレクション:ドニとかフジとか

レオナルド・フジタの《横たわる裸婦と猫》のほか、西洋と日本の近代絵画を紹介いたします。

### ◇近代日本画における中国

近代における中国絵画や文化の影響について、日本画のコレクションを通して紹介します。

### ◇ゆるるかげ

秋岡美帆《ゆるるかげ》を中心に、光と影、外界へのまなざしなどをテーマにした作品を紹介いたします。

## 《関連イベント》

### ○サンデー・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。

費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・12/15(日)15:00～15:30

担当学芸員・梅津元

作品・北野謙《「光を集めるプロジェクト」埼玉県立近代美術館屋上から(東)2015冬至-2016夏至》《「光を集めるプロジェクト」埼玉県立近代美術館屋上から(西)2015冬至-2016夏至》2017年

とき・1/12(日)15:00～15:30

担当学芸員・大越久子

ゲスト・筒木あづさ(元埼玉県立近代美術館司書、アーキビスト)

作品・関根伸夫《ストンファニチュア》1982年

## 一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

### ◆11/26(火)～12/1(日)

令和元年度(第58回)埼玉県高等学校書道展覧会(書)

……………一般展示室1～4

### ◆12/3(火)～12/8(日)

第10回埼玉県障害者アート企画展(日本画、水彩、油彩、ドローイングほか)

……………一般展示室1・2

舟木久美子パインツリーキルト教室作品展(パッチワーク)

……………一般展示室3

五彩展(水彩、油彩、ドローイング、和紙画、パステル画、ペン画)

……………一般展示室4

### ◆12/10(火)～12/15(日)

第53回全日本書道芸術展(書、墨象、ペン字、墨アート、デザイン書道)

……………一般展示室1・2

第2回吉田穂重作品展「埼玉の自然を描く」(油彩)

……………一般展示室3

### ◆12/17(火)～12/22(日)

池谷世史己展(アクリル)……………一般展示室4

### ◆1/7(火)～1/12(日)

第23回凛の会展(油彩、彫刻、写真)……………一般展示室1～4

### ◆1/14(火)～1/19(日)

第44回埼玉書連役員新春展・併催大作展(書)

……………一般展示室1～4

### ◆1/21(火)～1/26(日)

第43回埼玉国展(油彩、写真)……………一般展示室1

第3回猫とも新聞猫×人写真展「猫がいてよかった2020」(写真)

……………一般展示室2

第10回ニッコールクラブさいたま支部写真展(写真)

……………一般展示室4

### ◆1/28(火)～2/2(日)

文教大学美術専修卒業制作展(日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸ほか)

……………一般展示室1

第8回椿会創作人形展(人形)……………一般展示室4

## サマー・アドベンチャー 「もう一人の自分、私の影は何色？」

当館では、美術館での“できごと”を楽しむというコンセプトで、ワークショップ「MOMASのとびら」を土曜日に実施しています。夏休みはその拡大版、「サマー・アドベンチャー」です。今年も全4回、参加者の皆さんとアートを楽しみました。

8月17日(土)は、美術家の青木聖吾さんを講師に招き、親子を対象に「影」がテーマのプログラムを行いました。

その日、参加者の皆さんが集まった部屋には真ん中に壁がありました。壁には大きな画用紙が貼



ってあります。真っ白な紙を前に、ドキドキする子供たち。プログラムが始まると電気が消え、プロジェクターの光で皆さんの影が画用紙に写りました。体の動きや光源からの位置で、影は様々に変化します。「巨人になった!」「大きい手の影から逃げるぞ!」「鳥のくちばしパクパク〜」写る影の形に大盛りあがりです。影遊びで緊張していた子供たちの心もほぐれていき、

体の動きも影の形もバラエティ豊かになっていきました。

たくさん遊んだ後は、ポーズを決めて影の形を写しとります。親子で交替しながらそれぞれの影を写しとると、画面に参加者の皆さんの分身が登場しました。その形に赤・青・緑のパステルをぬり重ねていきます。最初はどの影の形も同じように色づいていきましたが、色の重ね方やぬり方によって変化が起きて

いきます。力いっぱいぬった強い色、優しいタッチの淡い色、色が溶け込むように重なった澄んだ色、手も足もいっぱい使ってぬった子供の色、細部まで丁寧に色を重ねた大人の色、協力して仕上げた親子の色…。使っていたのは3色だけですが、まるでその人、その親子を表すような、様々な色の「もう一人の自分」

がひとつの画面の中に生まれました。ワークショップ後、今回は完成したものを1階ギャラリーに展示しました。美術館の壁に飾られた「もう一人の自分」たちは、その色彩の美しさ、それぞれの存在感を伝えていました。展示期間中、参加者だけでなく

来館された方々が形や色のおもしろさ、世界観を味わう姿を拝見し、担当者としてうれしく思いました。今後も、美術館での“できごと”を多くの方に楽しんでいただ

だけよう、企画・運営をしていきたいと思ひます。(R.Y.)



## ワークショップ講師 青木聖吾さん へのインタビュー

ワークショップの中で、何か一つでも感じて持ち帰ってもらいたいという思いがあります。例えば3原色でこんな色になるんだとか影の不思議さとか、ドキドキした気持ちを感じたり、発見したりしてもらえればと思います。参加する人に自分なりに気付いてもらえればいいし、ワークショップが作品や素材との出会いの場になればいいです。

テーマとなった影に着目したのは、人というものが存在する理由や気配に興味があったからです。影は、物体はないけれど気配がある。また、自分が制作をしていく中でも、あるところまでは写実的に進めていけれど最終的には影に見える。描くという行為があり、結果的に生まれたものが影の様な絵になりました。

このワークショップを何度か行っていますが、毎回発見があって新鮮に感じます。今回は親子が対象だったので、特に盛り上がりましたね。親子で違う視点で活動して、影を通してコミュニケーションができました。それこそアートの醍醐味ではないでしょうか。それは、友達同士でも国籍が違う人との間でもコミュニケーションにもなりえる。可能性としては、世界共通言語として人と人とのつながりをつくるワークショップのあり方も提示できるのではと考えています。

ワークショップによってできるのは作品でなくてもいいし、たまたまできたものが作品になるかもしれないと考えます。今回は結果として絵画のようになり、とても迫力のあるものになりましたね。(聞き手 R.Y.)



## ミュージアム・ショップおすすめ商品

毎年大人気のアートカレンダーです。季節を感じられる風景など、好きなアーティストの名画で暮らしに彩を添えませんか。お部屋や飾る場所にあうものを選ぶのも楽しいですね。日付欄に予定やメモを書いて便利です。アート好きな方へのプレゼントにしても喜ばれると思いますよ。(E.S.)



L(30×30cm) 2,000円+税  
S(17×17) 1,200円+税  
デスク(スタンド型、16×20cm) 1,200円+税

埼玉県立近代美術館  
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1  
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 URL・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/  
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp  
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)  
休館日・月曜日(1/13は開館)、12/27～1/3 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。  
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。  
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。